

第2回定例会（令和7年6月4日から6月19日まで）

第2回定例会（6月定例会）は、令和7年6月4日に開会され、会期を6月19日までの16日間と決定し、全議案議了した後、18日に閉会しました。

初日は、専決処分4件、人事案件1件、その他3件を審議し、承認、同意、可決しました。その後、5議案を一括上程し、各常任委員会へ付託しました。

18日には発議1件、各常任委員長の報告の後、付託された、条例制定1件、条例改正3件、補正予算1件、計6件を審議し、可決しました。

一般質問では6人の議員が通告に基づき、それぞれ町政に対する質問、提言を行いました。

発議

- 御浜町議会議員報酬に関する調査特別委員会の設置に関する決議（案）について・・・可決

議案

- 専決処分（御浜町町税条例の一部改正）・・・承認
- 専決処分（御浜町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正）・・・承認
- 専決処分（御浜町国民健康保険税条例の一部改正）・・・承認
- 専決処分（御浜町後期高齢者医療に関する条例の一部改正）・・・承認
- 御浜町固定資産評価審査委員会委員の選任・・・城内 利夫氏（上市木）の選任に同意
- 工事請負契約の締結・・・可決
↳御浜町役場受変電設備等更新工事
- 工事請負契約の締結・・・可決
↳御浜町中央公民館改修工事
- 財産の取得・・・可決
↳御浜町立小中学校における学習者用端末の更新
- 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定・・・可決
- 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正・・・可決
- 御浜町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正・・・可決

- 御浜町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正・・・可決

- 令和7年度御浜町一般会計補正予算（第1号）・・・可決

↳歳入歳出予算の総額 69 億 9,046 万 6 千円

その他の活動

議会運営委員会

令和7年5月20日

協議事項

1. 第2回定例会について

- ①定例会等の日程及び上程議案の審議日程等の協議

全員協議会

令和7年5月26日

協議事項

- ①第6次御浜町総合計画後期基本計画(中間案)に係る協議について

説明事項

- ①受変電設備等更新工事について
- ②行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

- ③国の防災計画の修正及び南海トラフ被害想定の見直し等について
- ④御浜町福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑤御浜町立小中学校における学習者用端末の更新について
- ⑥中央公民館改修工事について

報告事項

- ①尾呂志診療所について
- ②新校舎建設全庁的プロジェクトについて

その他事項

- ①阿田和駅舎について
- ②KiiCardで得た情報データについて
- ③熊野古道20周年記念イベント浜祭りの事業結果について
- ④家庭ごみ収集について
- ⑤農産物直売所等の売り上げ額の推移について
- ⑥町道紀南病院線の進捗状況について
- ⑦学校での落雷対策について
- ⑧各地区公民館の和室などの空調の整備について

総務産業常任委員会

令和7年6月10日

審査事項

1. 付託された3件の議案の審査

担当課から補足説明を受けた後、質疑を行い、審査の最後に討論・採決を行いました。

教育民生常任委員会

令和7年6月11日

審査事項

1. 付託された3件の議案の審査

担当課から補足説明を受けた後、質疑を行い、審査の最後に討論・採決を行いました。

御浜町地域活性化調査研究特別委員会

令和7年4月7日

協議事項

1. 地域の皆さんと議会との懇談会について

令和7年5月15日

協議事項

1. 地域の皆さんと議会との懇談会について

令和7年6月4日

協議事項

1. 地域の皆さんと議会との懇談会について

「地域の皆さんと議会との懇談会について」

5月17日と18日に開催させていただき、多くの皆さんにご参加いただきありがとうございました。議会宛の質問を以下のとおり、ご回答させていただきます。なお、懇談会の詳細は本議会だよりP10、P11をご覧ください。

(1) 住民と議会との懇談会について、昼間休日の開催を検討して欲しい。

(回答) いただいた意見を含め、今後はなるべく参加者が参加しやすい日程で開催させていただきます。

(2) 以前より、議員定数が減少しているため、議会機能が十分果たせないと懸念している。

(回答) 議員定数については現況の10名で運営してまいります。成り手不足解消に繋がるよう御浜町議会議員報酬に関する調査研究特別委員会を立ち上げました。

(3) 同じ地域の町議会議員に地域懇談会に参加して欲しい。

(回答) 今後はなるべく同地区・同地域での議員を含んだ形での開催を心掛けたいと考えます。

令和7年 第2回定例会

御浜町議会定例会一般質問通告書(通告順)
詳しくは下記ページをご覧ください。

- 1. 池上 勝生 議員・・・P4
- 2. 端地 常浩 議員・・・P5
- 3. 高岡 洋 議員・・・P6
- 4. 南 州計 議員・・・P7
- 5. 宇城 公子 議員・・・P8
- 6. 世古 正 議員・・・P9

議会だより特別委員会

令和7年7月22日

協議事項

1. 議会だより128号について

道路建設・整備関係 広域の期成同盟会、協議会について

三重県最南部エリア、和歌山県・奈良県との県境に隣接する御浜町は、紀伊半島南部地域共通の課題である「道路整備」について、県境を越えて近隣の市町村と広域で取り組んでおり、期成同盟会や協議会として、国や県に対し、協力して建設・整備の要望活動等をおこなっています。

「期成同盟会」とは、ある特定の目標を達成するために、関係する地方公共団体や団体が連携して設立するもので、主に、道路や鉄道などの整備促進などを目的に活動する組織です。

御浜町は、近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）建設促進期成同盟会、熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会会員団体で、この他、国道 169 号線改良促進連絡協議会、国道 168 号（五条・新宮間）整備促進協議会等の会員団体として、町長と共に、議会を代表して議長が会議や国への要望活動に参加しています。

昨年 12 月 7 日には、長年の念願であった「国道 42 号新宮紀宝道路」（熊野川河口大橋）が全線開通。国土交通省近畿地方整備局が発表した整備効果では、新宮市内の渋滞解消や、御浜町内から新宮市立医療センターへの平均搬送時間が約 3～4 分短縮したこと等、大きな効果があったことが示されました。



整備効果資料
QRコード

近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）建設促進期成同盟会は、熊野市、御浜町、紀宝町、新宮市、那智勝浦町、田辺市、北山村で組織され、未着工である紀宝熊野道路や、すさみ串本道路の事業推進等、「紀伊半島一周高速道路」の早期全線開通に向けた要望に加え、紀勢大内山～尾鷲北間の 4 車線化の早期事業化を盛り込んだ決議文を 5 月の総会で取りまとめ、国に提出しています。

また、紀伊半島南部と関西圏を縦に結ぶ大動脈である国道 169 号、168 号についても、協議会を通じて改良・整備を要望する活動をおこなっており、令和 5 年 12 月に下北山村前鬼～上池原で発生した崩土被害に対しては、これら要望活動により、国による災害復旧権限代行が決まり、別線トンネルルートの本格的な工事が着工されています。



新伯母峯トンネル計画図

国道 169 号線改良促進連絡協議会は、上北山村・下北山村・川上村、北山村、熊野市・尾鷲市・紀宝町・御浜町で組織され、5 月に開催された総会では、国の直轄権限代行で計画されている新伯母峯トンネルの早期着工を強く要望する決議文が採択されました。

道路のほか、鉄道の整備促進として、リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会に県内全市町議長が特別会員になっており、総会等会議に出席しています。東京に直行（飛行機・鉄道）で行けない都道府県は三重県と奈良県のみで、三重県は「高速交通空白地」と言われています。

リニア計画では、駅は亀山市に設けられることが決まっており、東京～亀山間は約 1 時間で結ばれます。御浜～亀山間は、高速道路に乗れば紀勢道→伊勢道で約 140km、約 2 時間で行くことができ、名古屋駅経由で現在の新幹線で行くよりはかなり便利になります。

東京から最も遠いと言われる紀伊半島南部のこの地。みかんをはじめ、地域の特産物を大消費地の首都圏・名古屋・関西エリアに早く、安全に運ぶ物流の面でも、人の往来による地域経済の活性化の面でも道路・鉄道の整備は最重要課題であり、近隣市町村と力を合わせ、しっかりと取り組んで参りたいと存じております。



御浜町議会議長 山本 章彦

一般質問

国からの財政的支援のある、地域おこし協力隊・集落支援員を適材・適所に配置すべきではないですか

一 外部人材（地域おこし協力隊、集落支援員）の活動実態について

【質問】

（一）地域おこし協力隊、集落支援員について、現在、何名の協力隊・支援員を受け入れ、どのような分野で活動されているのですか

【答弁】 本町では現在、地域おこし協力隊が2名、集落支援員が5名活動しており、地域おこし協力隊は、「一般社団法人ツーリズムみはま」にて旅行者向け商品開発など、そして、集落支援員は、「みはまロコ」で店長などとして勤務しています。

国から一人当たり年額約500万円近い活動費が出ており、現在、尾鷲市では、20名の地域おこし協力隊、

そして熊野市では、26名の集落支援員が活動しています。国も力をいれており、令和5年は、約7200人であった地域おこし協力隊を令和8年までに、一万人にする目標を掲げており、財政的にも明確にして推進しているのが現状です。

【質問】

（二）地域おこし協力隊について、何名の方が本町に定住・就業しているのですか。その実態は

【答弁】 これまで通算で14名の隊員を受け入れ、そのうち8名が、任期終了後も本町に定住し、町内での就業や起業され、町の担い手として活躍しています。

【提案】

これらの制度は、2008年、麻生政権時に、人口減少により、集落機能の低下が問題となったことから、その対応策として打

ち出された施策であり、本町においても、過疎化等色々な課題があり、集落の維持、活性化に繋がるこのような制度を積極的に活用することが重要であると考えます。

例えば、阿田駅舎建て替えの際には、地域おこし協力隊員を駅長に、そして、黒岩池等ため池周辺の雑草対策、神木地区で進められている活性化施設の運営管理、阪本地区での稲作対策などについての調査、活動支援等に集落支援員の雇用を提案します。

二 タクシー料金助成事業の地域実情に応じた見直しについて

【質問】

（一）タクシー料金助成チケットについては、一律支給していますが、町内の地理的特性を考慮すると地域よって実質的な利便性に差が生じているのが現状です。距離による見直しを考える必要があるかと思いますが町長の考えは

【答弁】

本町で運用しているタクシー料金助成事業は、公共交通での移動を基本に、バス停から遠距離にある地域への対策として実施しており、平成27年の制度開始以来、これまでに何度か見直しを行いながら利便性の向上に努めてきたところです。

今後のことですが、まず、本年度、実態調査を実施した上で、ご指摘のタクシー料金助成事業の制度設計、あるいは様々な理由で公共交通が利用しにくい方にも対応できる新たな交通手段について議論を重ね、地域交通の再構築を検討します。

三 福祉バスの運行見直しについて

【質問】

（一）長年ルートが固定さ



池上 勝生 議員

れており、住民から運行見直しの要望が出ています。見直しや検証はどのようにされてきたのですか

【答弁】

今後の見直しについては、令和5年度に実施した福祉バス利用者等に対するアンケート調査結果を踏まえ、現時点では大きな変更の見直しの予定はございませんが、利用される方々などの声や利用状況の推移なども見ながら、福祉バス単独での検討だけでなく、町全体での交通体系や移動手段のあり方を検討する中で考えていきます。

【意見】

公共交通は、単なる移動の問題ではなく、健康維持や社会参加の基盤です。また外出を支援することとは、生活の質を維持するためには不可欠な施策であるといえます。



一般質問

公共交通網、商工観光、空き家、高齢者、物価、コメ農家、紀南病院について

公共交通網の整備については

質問 利用状況と住民ニーズに合った対策は

答弁 令和6年度利用状況、自主運行バス紀南病院線4、383人、熊野古道清流荘線16、838人、タクシール料金助成事業の登録者数237人、使用枚数5、603枚、福祉バス利用者数8、336人です。地域交通の再構築を検討します。

商工観光の振興について

質問 キーカードの到達点は

答弁 開始以来、会員数、加盟店数、取扱額も堅調に

推移しています。

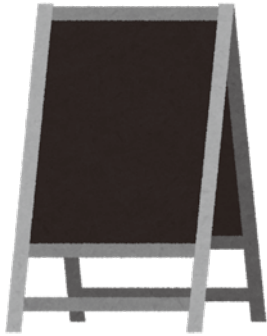
質問 観光商品開発は

答弁 宿泊体験と熊野古道や神社などを巡る体験セットを予約販売サイトやホームページで準備をしています。

質問 旅行客用案内板などは

答弁 さぎりの里への大型看板は今後の検討課題です。

ガイドブックやマップを配布できるように、置き場を工夫していきます。



空き家対策について

質問 移住農業者向け対策と問題点の解決策は

答弁 研修生の皆様には7棟の研修生住宅を用意して対応しております。

当面は空き家バンクへの登録物件の掘起こしを積極的に推進し、より多くの選択肢を提供できるよう取り組んでまいります。

シルバー人材センターについて

質問 現状分析と効率化は

答弁 会員数は、6年度102人、就業人数は4、423人と、順調に推移しております。

効率化策は、シルバー人

材センターと共有させて頂きます。

みまろコについて

質問 問題点の解決策は

答弁 営業時間は現在、9時から15時30分までです。開設以来、毎年約200万円ずつ販売金額は伸びています。

役員さんがいろんなことを考えて、チャレンジして確実に前進しています。

物価高騰対策について

質問 今年度の対策は

答弁 子育て世帯に子ども1人当たり5千円分、住民税非課税世帯に1世帯当たり1万円分の商品券を配布します。学校給食の無償



端地 常浩 議員

コメ農家を元気にする対策について

質問 町ができる事は

答弁 地域の関係者や県関係機関とも話し合いを重ねながら、方向性を定めていきます。

紀南病院経営健全化について

質問 経営健全化計画は

答弁 令和6年3月に経営強化プランを策定しました。実効性のある計画を提案してまいります。



一般質問



なぜ、町民の声を無視して「みかん祭り」を廃止するのか。

質問 町を元気にする町民大多数が切望するみかん祭りをなぜ廃止するのか？

答弁 駐車場が、ないからみかん祭りはしません。

意見 そんな意味不明な理由で廃止。もっと町民の声を真摯に受け止めて！

みかん祭り再開せよの町民の声を完全無視！
公民館空調施設は各地区の設置者が負担？
耕作放棄地の農地再整備は、待ったなし！
観光案内所、閉鎖しても経済不安一切なし！

なぜ、公民館（大広間以外）の空調整備は各地区のお金で整備させられるのか？

質問 阿田和公民館の空調は、税金で設置しました。他の公民館は、各地区でお金を工面して設置修理をしてください。これっておかしいのですか？

答弁 阿田和公民館以外は、各地区で設置していたので、今後も各地区で設置してください。

意見 公平公正平等な税の配分をしてください。町長の考えが理解できない。

みかん産地再生の取り組みを最優先で！

質問 新規就農者10人を10年で100組という目標を掲げました。しかし、就農者の畑が足りない状況です。早急に対処するために、も荒廃地の再整備を総合計画に明記して確実に事業化を求めます。

答弁 検討させていただきます。

意見 柑橘の衰退は、御浜町の衰退。荒れた畑の再生整備はみかん産地再生に必要不可欠です。



御浜町は一次産業の町で観光の町ではない！

質問 経済の好循環、人の減らない町を謳って観光事業に取り組んで7年、全く成果が報告されず検証不可能。多額の税金をかけて観光案内所を設置して現在も運営していますが、観光案内所を閉鎖したら御浜町の経済に影響はあるのか？

答弁 閉めても直ちに何か起こることはありません。

意見 町長は30年から40年かけて、観光事業で成果を出すという見解ですが、あまりにも無責任だと思います。



高岡 洋 議員



一般質問

避けられない人口減少！

「人口減少への挑戦」の現状と今後の方針

第6次総合計画重点プロジェクト「人口減少への挑戦」について

質問 今年度前期計画の最終年度となるが、これまで取り組んだ主な事業の成果と課題は。

答弁 人口減少への挑戦プロジェクトでは、人口減少という大きな課題に向き合いながら、若い世代が安心して暮らし、子育てができる環境づくりに取り組んできました。

このうち、社会増減への対策として、①マイホーム取得支援制度、②主産業である柑橘等の新規就農者への手厚いサポートに特化した体制の整備、③空き家バンク等の推進による住宅の確保、④転入子育て家庭支援ポイント、⑤移住支援金、⑥御浜町同窓会連絡会を通

じたUターン促進事業、⑦外部向けプロモーションサイトによる情報発信等の事業展開を図り、成果として令和2年度から6年度までの5年間で、累計250名超の移住者につながりました。

次に自然増減の取り組みとして、①小中学校給食費の無償化、②3歳未満児の保育料無料化（東紀州地域唯一）、③18歳年度末までの子ども医療費の窓口無料化、④出生子ども家庭支援ポイント、⑤結婚新生活支援補助金、⑥3市町合同婚活イベントの開催等の事業に取り組み、成果として昨年度実施した町民アンケートで、御浜町に住みつづきたいと回答された割合が73・1%となり、5年前の72・0%から1・1%増加しました。

質問 本年度及び後期計画に向けた取り組み方針は。

答弁 本年度は、前期基本計画の最終年度に当たり、総仕上げの一年として取り組んでいるところであり、

また、現在策定中の後期基本計画においては、現行取り組みと併せて、最優先として小中学校と阿田和保育園の建築に取り組み、若い世代に選ばれるための環境整備を進めてまいります。

このような対策を講じることで、一定の成果は出るかと考えているが、学校や保育園の建設などの大きな事業により、厳しい財政的制約の中での町政運営が見込まれます。

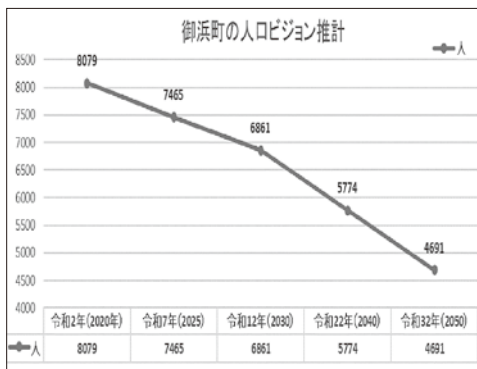
なお将来的には、継続的に様々な施策を講じたとし

ても、人口の半減が予想できることから、将来世代に負担を先送りすることなく、私たちと将来世代の豊かな暮らしを守っていくために、人口減少に対応した行政への変革が必要であると考えます。



南 州計 議員

御浜町の人口ビジョン推計



防災行政無線の利活用について

質問 利活用の基準と範囲は。

答弁 防災行政無線の利活用は、町の行政情報をはじめ各公共機関、区及び自治会などからの依頼の公共的な行事等の情報を発信させていただいております。個人や民間団体などからの私的な放送の依頼は、お断りさせていただきます。

質問 近くの高速道路等で発生した交通事故による通行止め情報放送の有無は。

答弁 道路管理者や警察から依頼があった場合は放送していますが、依頼がない場合は、事故の発生時期や復旧の目途が中々把握しにくいこともあるので、道路利用者の皆様には、道路管理者による電光掲示板や看板などの情報に注視いただきたいと考えております。



一般質問

庭の草・小枝の収集について

ゴミステーションに出していた庭の草・小枝の収集が粗大ごみの持ち込みに変わります！

質問 広報みはまにチラシが入っていてみんなびつくりしました。運搬手段のない多くの人たちは、どうしたらいいのだろうととても困られている。元に戻す工夫は何かないのか。

木曜日の庭の草・小枝のゴミステーションでの収集を復活することを望む。



キキョウの花

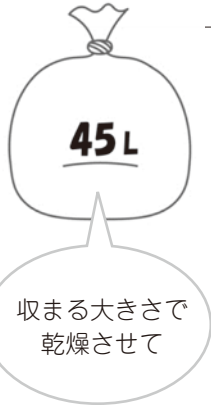
答弁 軍手や苗箱、野菜のくずなどの草・小枝以外のごみが混入された状態のものや、家庭以外で発生した草・小枝が多く出されており、作業員が改めて分別作業を行わなければならぬ状況となっていたため、対応に苦慮していた。

広報紙や防災行政無線による分別方法の周知によっても改善されなかった。

収集方法の変更後に町民の皆様からの不便さの声

(再度協議)

可燃ごみ日に収集を行う



まちづくり協議会の設置について

質問 地域課題の解決や活性化を目的にする組織を作ることはできないか。町が一つのまちづくり協議会を作り、委員から出される地域課題の解決に挑戦してどうかという提案。幅広い年齢層の公募という新しい考え方も取り入れながら、御浜町ならではのまちづくり協議会が近いうちに立ち上がることを期待する。

答弁 町民の皆様のお声を聞いて議論する形の公聴的な町主体のまちづくり協議会の必要性については、ご提案として今後、参考にさせていただきます。

新規就農者のための住宅整備について

質問 農地とともに必要な住宅、倉庫について、しっかりと計画的に整備していく必要があるのではないか。

町営住宅として農家住宅を建てることはできないか。シェア倉庫のようなものは考えられないか。

答弁 当面は空き家バンクへの登録物件の掘り起こしを積極的に推進し、より多くの選択肢を提供できるよう取り組んでいく。町営住宅は建てるという計画はない。シェア倉庫のようなものは、J Aに打診している。



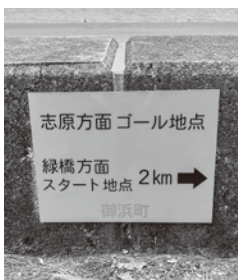
宇城 公子 議員

オオキンケイギクの駆除について

質問 町で取り組むことは何かあるのか。県や国との連携は可能かどうか探ってみてはどうか。

答弁 国、県の担当部局と連携しながら、啓発活動を強化し、繁殖させない意識付けを図ることが重要と考えている。

広報紙や防災行政無線による情報提供、各地域の清掃活動時における啓発活動などのアプローチを進めていきたい。



堤防の新しい距離表示看板



ゴミ収集と対策について

草木などの回収方法の変更について

質問 四月より家庭から排出する草木などの各集積場からの回収を中止した理由は。

高齢者や敷地の小さい家庭では後始末ができず処理に困っている。
行政はこれらの声に、どのように答えていくのか。

答弁 各地区のごみ集積場に出される草木の中には野菜屑や草木以外のものが混入されており、対応に苦慮してきました。

そこで、自家処理を前提にしながらも、粗大ごみの持ち込みと同様にゴミステーションへの直接持ち込みに変更した。その後住民の皆さんの不便さを訴える声もあり各地区集積場での回収を行う。

町営草木処理施設の設置を

質問 これまで幾度となく実現を求めてきたが、行政の前向きな姿勢が見えない、公園や公道のボランテニア活動での草刈りや、農地の管理のための草刈などで排出される物を含め公営施設で堆肥化して再び農地に還元していく。

温暖化対策にも直結するものであり、早期の実現を求める。

答弁 勉強不足であり、もう少し勉強させていただきたい、先進地を含め色々研究していきたい。

草木の処理は現在処理業者に委託しており昨年度は、トン当たり5万円総額三百万円程の処理費用を支払っている。

米作り町農業の今後の見通しについて

質問 急激な気温の上昇や記録的豪雨・乾燥による大規模山林火災など異常気象により、農業にも大きな影響が出てきております。その対策と対応は待ったなしの課題である。今年のコメ不足にも影響がでており、国民の主食である米作りは町民の胃袋を守る基幹産業であります。

市場任せと無責任な国の農政の中で町内では耕作放棄地が増えており、農地と農家の経営を守る施策を速やかに進めることが必要であるが、見解を求める。

答弁 昨年度実施した農業の将来を語り合う会議の中で、稲作の先行きへの不安の声が多く出された。今後も地区単位での今後の在り方について関係者や



議員 正 世古

関係機関とも連携しながら方向性を定めていきたい。



柑橘栽培の今後の展望について

質問 三月十二日付け「日本農業新聞」一面に現在の「ミカン産地すべて不適地に」の報道を目にし、地球温暖化の影響が深刻になってきていることが読み取れます。

現在、柑橘を主産業としている御浜町として対策や今後の展望についてどのような考えを持っているのか見解を求める。

答弁 本年三月「農研機



構」から温州ミカン・アボカドの適地移動予測マップが発表され、今世紀末には地球温暖化の影響により、南紀のミカン産地も温州ミカンの適地ではなくなる予測がされています。
今後、関係機関や専門家などと協力しながら必要な対策や具体策について適時対応していきたい。

公共施設への生理用品の設置について

質問 2021年度の議会でも要求してきた、学校・公共施設の女子トイレに生理用品の配置を求めているが現状どのようなになっているのか

答弁 公共施設への配布は行っていない、各学校においては保健室に配備している。

地域の皆さんと議会との懇談会を開催しました。

今回、御浜町地域活性化調査研究特別委員会（高岡 洋委員長）主催で、5月17日（土）、18日（日）に町内6会場で、「地域の皆さんと議会との懇談会」を開催したところ、延べ79名の住民の皆さんにご参加いただき、誠にありがとうございました。

主な意見は以下のとおりです。

住民の皆さんの声

まちづくり

意見数5

<主な意見>

- ・新校舎建設に伴う学校跡地の利用
- ・まちづくり協議会の設置
- ・阿田和駅舎の建て替え



農林水産業振興

意見数12

<主な意見>

- ・稲作対策の強化
- ・柑橘後継者対策等の強化
- ・柑橘に係る観光対策
- ・柑橘に係る灌水対策
- ・集落支援員の雇用
- ・新規就農者に係る作業倉庫の整備
- ・農地の継承



商工観光

意見数6

<主な意見>

- ・観光名所（妙見山、桃太郎岩）までの道案内看板の整備
- ・観光事業の継続問題



桃太郎岩（尾呂志片川地区）



各会場の様子

福祉・医療

意見数10

<主な意見>

- ・尾呂志診療所について
- ・要介護者等に係る対応
- ・紀南病院の財政問題
- ・福祉バスの運行見直し
- ・障がい者の窓口無料化
- ・子育ての支援



環境衛生

意見数10

<主な意見>

- ・畜産牛舎に係る環境問題
- ・太陽光発電設置に係る条例の制定
- ・オオキンケイギクの駆除
- ・犬猫等のペットの飼い主のマナー
- ・草木の回収

道路

意見数6

<主な意見>

- ・壺の池周辺の道路環境整備
- ・農道更正線こうせいの拡幅
- ・高速道路整備に伴うパーキングエリアの整備

総務・企画

意見数14

<主な意見>

- ・タクシーチケット配布の格差是正
- ・ふるさと納税の更なる強化
- ・空き家バンクの充実
- ・地域おこし協力隊の活動実態の透明化
- ・オレンジ商品券の全戸配布

教育・文化

意見数10

<主な意見>

- ・神木イヌマキの調査
- ・志原公民館の改修整備



神木のイヌマキ

防災・防犯

意見数9

<主な意見>

- ・大手畜産業者との災害支援協定の検討
- ・携帯電話不感地帯の解消
- ・津波避難タワー建設の是非
- ・防犯カメラの設置
- ・防犯灯の設置



多くのご意見やご提案をいただきありがとうございました。皆さんからいただいた貴重な意見は、議員間で取りまとめの上、執行部に届けたいと思います。

(高岡洋委員長)

議員の一押し写真



御浜町中央公民館屋上から眺める七里御浜ふれあいビーチです。

温暖な気候と青い海は、まるでハワイ！

※現在、御浜町中央公民館は大規模改修中のため一部使用できません。

(池上 勝生議員提供)

～議会を傍聴してみませんか～

本会議はどなたでも傍聴できます。傍聴席は一般席が18席、車椅子で傍聴できるスペースが2台分あります。

傍聴を希望される方は、役場庁舎3階の傍聴受付で、住所・氏名を記入のうえ入場してください。

※定例会など本会議の様子は、御浜町公式ホームページ『議会録画中継』でご覧いただけます。



編集／御浜町議会だより特別委員会

委員長	宇城 公子
副委員長	高岡 洋
委員	池上 勝生
委員	南 州計

発行／三重県南牟婁郡御浜町議会
発行責任者／山本 章彦

〒519-5292

三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和6120番地1

TEL 05979-3-0524 FAX 05979-2-3502

E-mail m-gikai@town.mihama.mie.jp